

令和 元 年度

自己評価・学校関係者評価 報告書



九州龍谷短期大学付属龍谷こども園

九州龍谷短期大学附属龍谷こども園令和元年度 龍谷こども園 自己評価アンケート用紙(職員対象)

評価の段階 ①とてもそう思う ②ややそう思う ③あまりそう思わない ④そう思わない ⑤わからない

NO	評価項目 (観点)	評価内容	評価の段階(%)						評価	平成30年度評価
			①	②	③	④	⑤	① + ②		① + ②
1	意欲	園の運営方針を理解し、園児のために意欲的に教育・保育活動に取り組んでいる。	22.9	71.4	2.9	0	2.9	94.3	A	95(A)
2	研究・研修	指導法や幼児理解について、園内外での研究や研修に積極的に参加するなど、保育者としての資質向上に努めている。	5.7	51.4	42.9	0	0	57.1	D	61(C)
3	組織力	教育課題や問題等について、園全体や学年でよく話し合っている。	25.7	60.0	14.3	0	0	85.7	A	83(A)
4	安全・環境	施設・設備の安全に定期的に点検するとともに、園庭やホール、保育室の清掃、整理・整頓等の環境整備に配慮している。	14.3	68.6	17.1	0	0	82.9	A	81(A)
5	指導の工夫・改善	園児の主体的な活動や豊かな体験ができるように、環境構成や指導の工夫・改善を行っている。	20.0	65.7	11.4	0	2.9	85.7	A	92(A)
6	宗教的情操の教育	仏さまのお参りや保育実践を通して、いのちの大切さや感謝する気持ちを育むよう努めている。	42.9	51.4	5.7	0	0	94.3	A	97(A)
7	生活習慣指導	挨拶をする、きまりを守るなど、基本的な生活習慣が身に付くよう、学年や園で組織的に取り組んでいる。	54.3	42.9	0	0	2.9	97.2	A	97(A)
8	信頼性・連携	園児が安心して自分らしさを発揮したり、保護者が気軽に相談したりできるような信頼関係を作っている。	28.6	60.0	0	0	11.4	88.6	A	100(A)
9	情報の提供	保護者面談会や保育参観行事、ホームページやお便りなどを通して、園での子どもの様子を保護者に伝える努力をしている。	25.8	51.6	22.6	0	0	77.4	B	75(B)
10	地域・社会とのかかわり	友だちや地域の人々など、身近な人との触れ合いを深め、親しみが持てるように指導している。	5.7	71.4	14.3	0	8.6	77.1	B	61(C)
11	食育の推進	園児が「食」を通して、食事を楽しむとともに、望ましい食習慣を身に付けるように、家庭と連携を図りながら指導している。	22.9	48.6	20.0	0	8.6	71.5	B	58(D)
12	幼小の接続	年長では、小学校生活に憧れや期待を持たせる機会を設け、小学校生活や学習の基礎となる内容を活動に取り入れている。	33.3	66.7	0	0	0	100	A	100(A)

※評価の基準 A：①・②の合計が80%以上 B：①・②の合計が70%以上80%未満 C：①・②の合計が60%以上70%未満 D：①・②の合計が60%未満

令和元年度 龍谷こども園 園評価アンケート集計結果（保護者対象）

評価の段階 ①とてもそう思う ②ややそう思う ③あまりそう思わない ④そう思わない ⑤わからない

NO	評価項目 (観点)	評価内容	評価の段階(%)						評価	平成30年度評価 ① + ②
			①	②	③	④	⑤	① + ②		
1	意欲	教職員は、園児のために意欲的に教育・保育活動に取り組んでいる。	71.2	25.3	0	2.5	1.0	96.5	A	94(A)
2	研究・研修	教職員は、教育・保育に関する研修を積極的に行っている。	30.7	31.2	3.5	1.0	33.7	61.9	C	70(B)
3	組織力	園は、園児一人ひとりの指導や支援等について組織的に対応している。	47.0	42.9	3.0	4.0	3.0	89.9	A	83(A)
4	安全・環境	園は、施設・設備の安全に留意するとともに、保育室等の清掃、整理等の環境整備を行っている。	50.3	36.2	10.6	1.5	1.5	86.5	A	86(A)
5	指導の工夫・改善	園は、園児一人ひとりが興味・関心に応じた遊びができるよう、環境構成の工夫をし、様々な体験をさせている。	57.8	34.2	4.0	2.0	2.0	92.0	A	91(A)
6	宗教的情操の教育	教職員は、仏さまのお参りや保育実践を通して、いのちの大切さや感謝する気持ちを育むよう努めている。	67.8	26.6	0	2.0	3.5	94.4	A	92(A)
7	生活習慣指導	教職員は、自分のことは自分でする、場に応じた挨拶をする等、基本的な生活習慣が身に付くよう関わっている。	59.3	32.2	4.5	2.5	1.5	91.5	A	90(A)
8	信頼性・連携	園は、家庭との連絡等、意志の疎通を図るとともに、保護者がいつでも相談できる体制作りを努力している。	51.8	37.1	5.6	4.6	1.0	88.9	A	84(A)
9	情報の提供	園は、保護者面談会や保育参観行事、ホームページやお便りなどを通して、園での子どもの様子を保護者に伝える努力をしている。	47.2	39.2	9.5	3.5	0.5	86.4	A	87(A)
10	地域・社会とのかかわり	園は、短大や高校、地域等の諸機関と連携し、園児により良い教育・保育を提供するように努めている。	72.9	24.1	0	2.0	1.0	97.0	A	92(A)
11	食育の推進	園は、「食」に対する指導の重要性を認識し、園児が興味・関心をもって、食生活の大切さやマナーを理解し、身に付けるよう指導している。	55.1	31.1	3.6	3.6	6.6	86.2	A	83(A)
12	幼小の接続	園は、年長児が小学校生活に憧れや期待を持つよう指導したり、小学校と交流する機会をつくったりしている。	58.0	32.0	0	2.0	0	90.0	A	85(A)

※評価の基準 A：①・②の合計が80%以上 B：①・②の合計が70%以上80%未満 C：①・②の合計が60%以上70%未満 D：①・②の合計が60%未満

令和元年度 龍谷こども園 評価委員評価結果

各項目について A：たいへんよい B：よい C：一部検討を要する D：改善を要する

評価項目		評価①	評価②	評価③	評価結果	評価項目		評価①	評価②	評価③	評価結果
1	意欲	A	A	A	A	7	生活習慣指導	A	A	A	A
2	研究・研修	B	C	A	B	8	信頼性・連携	A	A	A	A
3	組織力	A	A	A	A	9	情報の提供	A	A	B	A
4	安全・環境	B	A	A	A	10	地域・社会との関わり	A	A	A	A
5	指導の工夫・改善	A	A	A	A	11	食育の推進	B	A	A	A
6	宗教的情操の教育	A	A	A	A	12	幼小の接続	A	A	A	A

評価委員会総合評価

A	<p>総合評価 理由</p> <p>保護者にとっては正職員・嘱託職員の区別はなく、高度な教育を求められています。自己評価アンケートに「⑤わからない」の評価をする教職員が複数おられますので、指導助言を行い全体的な底上げを期待します。学園の特性を生かした運営で地域の評価が高まることを願っています。日頃のご協力に感謝申し上げます。</p> <p>職員の意識が高いせいか、職員の評価は全体的に厳しめに出ているが、保護者の評価は高い。園としては資質向上を次年度への課題と捉えられているが、保護者の評価は高いので職員の満足度が高まるようなコミュニケーション、人員配置等と合わせた取組をお願いしたい。来年度も引き続き、時代に合った教育・保育をお願いします。</p> <p>今、教育の現場では教職員の資質向上が喫緊の課題ですが、貴園では課題を明確にして園内研修等で研さんを積まれていらっしゃることに敬意を感じます。お忙しい中ですが自発的な研修はやがて子どもの適切な指導につながり、ひいては育った子どもの姿により保護者の理解が推進することになると思います。頑張ってください。</p>
---	--

令和元年度の自己評価・関係者評価を終えて

○評価委員の方々からは、総合評価として「A」の評価をいただいた。

○「研究・研修」に関しては、目標値の設定が難しく、保護者からはわかりづらい項目であり内容変更の必要があると指摘を受けた。職員に関しては、今後も意識を高め、教育・保育の質の向上に努めていくことが大切である。限られた時間の中で職員の資質向上を図るための園内研修を工夫して実施していきたい。

○職員の自己評価で各項目において「わからない」と回答する職員が数名いることに関して、指導助言等により全体的な底上げを行う必要がある。園が思い描くビジョンと個々職員の意識をリンクさせ、系統的な研修形態を作っていくことが重要である。

○各々の委員の方から文書や口頭で貴重なご意見を頂き、有意義な関係者評価委員会となった。次年度の取り組みにしっかり活かしていきたい。